

「段戸フォーラム」レポート

＊3月5日 第7回「杉浦正健法務大臣講演会」

衆議院議員 杉浦正健氏（高5回）

当日は日曜正午の始まりでしたが、各世代から男女合わせて約60名が出席（昨年度総会出席者200名の3割を占めた）。岡崎市から初めての大蔵大臣であり、郷里の身近な話題から、サラリーマン→弁護士→国会議員へと転進されたご本人の生い立ち、現在の国家観に至るまでを杉浦さんが熱く語られ、質問コーナーでは爆笑を交えたなごやかな雰囲気での終始しました。講演会の後にグラスを傾け、個々に語り合う懇親会も設けられ同期仲間、先輩・後輩、出身中学の輪が広がり、盛り上がりました。

＊5月30日 第8回「わが国の持続的成長は確実に変わったか」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社取締役専務執行役員 門野史明氏（高16回）

当日の特筆はフォーラムに学生会員（大学1・2年生）5名（近藤宏樹、小田亜矢子、香田和良、畔柳圭佑、門池金八）が初めて参加。経済に明るい人、暗い人、老若男女合わせて30人余りの前で、門野さんが現在の日本経済について「いわゆるエコノミスト」の観点からとは違う自説を開陳されました。「現在の日本の経済は絶好調である」というコメントにはホッとしながらも、2007年くらいから鈍ってきて、その先は何となく「暗雲？」が。しかし、「虚業」よりも「実業」が大事であることも強調され、「実業」に関係する者としては溜飲の下がる思い。活発な質問に、門野さんも丁寧にシロウトにも分かりやすくお答え頂きました。参加者の自己紹介で閉会、出席者の多くは二次会（居酒屋）に参加、親交を更に深めました。



さて次回以降の「テーマ・講師」は開催告知のお楽しみとしたいと思います。

次の参加は：<http://homepage3.nifty.com/dandokai/>

①段戸会ホームページをチェック②専用申込フォームから発信③出席のお楽しみ!

花見の会

ダイヤモンドホテルで会食後、岡崎公園の桜を思い出しながら千鳥が淵の夜桜を散策という、首都圏段戸会では初めての企画である「段戸花見会」、去る4月6日、12名の参加を得て和気藹々の雰囲気の中、無事終了しました。

高校3回～高校54回までの老若男男（女性は当日2名出席の予定でしたが急遽欠席）が、それぞれの思いを語り、人生の先輩がアドバイスし、超満員の花見客でごった返す千鳥が淵を闊歩する様子は、岡高健児の面目躍如たるものを感じさせる一夜でした。三々五々解散の後は、二次会へ繰り出したグループもいたようでした。年配-中堅-若手が共に楽しめる企画としての花見会、来年はもっと大勢の参加を得て更に盛大にやりましょう。 文責：藤田訓弘（高13回）



ゴルフコンペ

去る5月10日（水）、「段戸ゴルフ会」第二回ゴルフコンペが無事終了しました。天候は小雨煙ると言った所でしょうか、しかし暑くも無く、寒くも無く、程好い温度の中、千葉県印旛郡・泉カントリークラブにて執り行われました。

参加者は、13名でしたが、卒業年度がバラエティーに富み、皆さん若々しく、和気藹々と、物凄く楽しかったです。当日の参加者は次の皆さんでした。
中50回 陶山祐司 高7回 杉山 修、富田昌光 高10回 宇佐美忠利、山川肇爾、藤墳成幸、木村富司雄 高13回 藤田訓弘、鈴木昭二、榊原健二、和田 徹、和田夫人 高17回 東新家英二
名幹事の榊原さん、宇佐美さん、そして皆さんのご協力に感謝申し上げます。今後、着実に楽しいゴルフ会になってゆくと考えております。ちなみに優勝は、幹事自らの、榊原さんでした。 文責：木村富司雄（高10回）



囲碁会（対時習館戦）

段戸囲碁会は、中50回～高23回まで、現在30人の会員がいます。毎月最終日曜の13：00から学士会館で定例月例囲碁会を開催し、ボケ防止に最高(?)といわれる囲碁を楽しんでいます。

棋力は六段から4級まで多士済々ですが、囲碁終了後には、情報交換会（実は一献会）と称して、囲碁に関係ないことも肴にして三河弁丸出しでワイワイガヤガヤと楽しい囲碁会をやっています。7/16には時習館高校OB囲碁同好会との交流試合も実現しました。戦績は26勝11敗と我が岡高の圧勝でした。老若男女、強い弱いは全く関係なく、初心者大歓迎です。囲碁に興味のある方、気楽に声を掛けて下さい！ 文責：藤田訓弘（高13回）



「趣味の会」に関するお問い合わせ

皆さまの参加をお待ちしております!

- 「段戸囲碁会」（代表：藤田訓弘 高13回） kfujita@muc.biglobe.ne.jp
- 「段戸華教室」（代表：篠原貴子 高48回） takako@zj8.so-net.ne.jp
- 「段戸音楽会」（代表：長野麻子 高42回） ZWQ10632@nifty.com
- 「段戸俳句会」（代表：本多正之 高13回） masa-honda@cnc.jp
- 「段戸「山の会」」（代表：板谷敏正 高34回） itaya@propertydbk.com
- 「段戸ゴルフ会」（代表：木村富司雄 高10回） BYR10566@nifty.ne.jp

首都圏段戸会会報

平成18年9月 第18号

「高校力」と

首都圏段戸会

首都圏段戸会会長 外村 仁（高八回）



早いもので今年も会報用の原稿を書く時期となりました。私が会長をお引き受けしたのは日韓ワールドカップで盛り上がった年です。それから、もう四年前になります。それ以来、首都圏段戸会は世話人各位の並々ならぬご尽力と会員の皆さんのご支援のおかげをもって一歩一歩着実に活動内容を充実し、存在感を高めることが出来たのは……と考えております。この機会に改めて御礼を申し上げます。

さて、私たちの母校、岡崎高校は愛知二中として創立されて以来、本年で百十周年を迎えました。去る七月一日に岡崎で同窓会の総会・懇親会が開催されましたが、その際百十周年記念事業の一環として「同窓会を考える」というテーマで講演会が行われました。ご依頼を受けて私も講師として参加し、首都圏段戸会の活動状況について話をして参りました。（関西）矢作会からも左右田前会長が参加されました。矢作会は創設以来九十一年という長い歴史をもち、し

かもこの間一回も欠かさず毎年同窓会を続けてきたそうです。戦争中や戦後の混乱期のことを考えますと、これは関係者の方々の大変なご努力がもたらした素晴らしい記録であり、敬服の至りです。私たちの段戸会も先輩格の矢作会に見習って更に一段の努力をせねば……との念を深くしました。

岡崎の同窓会では古希を迎える年次の同窓生を懇親会に招待する慣わしになっています。今年も高七回が「古希年次」でしたが、百二十名の方々が出席されました。これはこれまでの最多出席数だそうですね。懇親会終了後、そのうち八十名が会場へ出迎えたバスで温泉一泊のクラス会に向かわれました。私にとつて高七回は一年上のクラスに当たり、岡高の野球が強かったころの選手であった先輩も含め懐かしい顔も大勢お見受けしました。高七回パワーに刺激されたのか、全体の出席者も多く近年の母校の発展ぶりを反映したかのような盛会でした。私たちが首都圏で頑張っていますが、全国的な

相乗効果で同窓会活動が更に活性化するのはないかと心強く感じました。

一年位前でしたか、ある週刊誌が「高校力」という新語を使っている。高校が輩出する人材の蓄積や卒業生のネットワークないし人脈の力に着目した記事を書きました。社会へ出てから頼りがいのある人的なつながりという観点から「大学力」と「高校力」のどちらが有力かと思うかというような内容でした。私自身は大学にも高校にもそれぞれの良さはあるものの、高校の人的関係には欲得感情の入り込む余地が少ないだけに「高校力」に軍配を挙げたいと思いました。そして私は岡崎高校ほど「高校力」の強い高校は日本広しと言えども数少ないものと思います。しかも近年その力は更に強まっているように見受けられます。私のようなシニアな世代から見れば誠に嬉しい限りであり、このような高校のOBであることを誇りに思っています。（体育会系の卒業生として一つだけ欲を言えば、母校の伝統である文武両道の「武」の方でも力をもう少し発揮できれば言うことはありません。）ともあれ、首都圏段戸会の重要なミッションは「岡崎高校力」を首都圏に居住する様々な世代の同窓生が充分享受できるようにお手伝いをしていくことだと信じております。

別途ご案内しますように今年の総会・懇親会は十一月十八日（土）に開催します。段戸会でも今回から古希年次の方をご招待することにいたしました。なお、今回は初めてなので古希（高七回）および古希を過ぎた方全員をご招待しま

す。その他若手会員割引、学生割引なども用意しています。どうか皆さんお誘い合わせの上お集まり下さるようお願いいたします。母校の百十周年を東京でも盛大にお祝いしましょう。

「段戸フォーラム」話題二選

「段戸フォーラム」は三年前前（二〇〇四年九月）にスタート。従来、首都圏段戸会は、年一回の総会を中心に進められて来ましたが、「会員相互の親睦の幅を広げる」、「若手会員の皆さんにとつても、より身近でかつ魅力的なものにするための活動が欲しいね」という声が多くなり、実現しました。

「段戸フォーラム」新鮮話題二選として、今年開催の二回分をここにレポートさせて頂きます。（レポート記事四面）



高2回	服部 登
高3回	丹羽 鼎
高6回	有馬弘政
高7回	齊藤悦子
高8回	杉浦嘉久
高10回	木村富司雄
高11回	中根 淳
高12回	鶴田文男
高13回	藤田訓弘
高14回	水谷鏡子
高15回	満江信之
高16回	鈴木貞雄
高17回	伊与田正彦
高18回	山田博子
高19回	岡部芳郎
高20回	村木中央
高21回	天野隆太郎
高22回	清水照雄
高23回	青山裕治
高25回	戸田譲三
高26回	織田利彦
高27回	宮川龍也
高30回	米津智徳
高31回	高原正之
高32回	堀内友二
高34回	板谷敏正
高35回	板倉信吾
高37回	市川智基
高40回	永田賢也
高41回	磯谷陽子
高42回	長野麻子
高43回	鴻池 稔
高44回	安藤 稔
高45回	筒井貴之
高46回	朝岡大輔
高48回	荻野友佑子
高2回	小六 要子
高8回	外村 仁
高13回	成瀬 徹
高16回	磯井進
高17回	佐伯 寛子
高18回	福山 透
高20回	辻村貴典
高21回	丸川美雪
高22回	上田 洋子
高23回	山口 知子
高26回	木村美穂子
高30回	藤井義之
高34回	井上由美子
高40回	平山 健二
高42回	西浦 瑞恵
高46回	篠原 貴子

平成18年度世話人

「同窓会活動に期待するもの」

同窓の輪はきつかけづくり

長野 今日はず、去年の総会に出席された感想から聞かせて頂きたいと思えます。特に何か印象に残ったことがありましたでしょうか？

水谷 そうですね、年々人数が増えてきて、特に若い方達が多かったですよね。やっぱり若い人達が入るとエネルギーが変わるといいますか、熟年とフレッシュな若い人達がミックスされた非常に良い雰囲気になっていました。神尾さんはどうですか？若い人は目につきましたか？

長野 そうですね。現役の学生さんが沢山来られていて。特に印象的だったのは、私たちと同期の子の生徒さんが来られていたことですね。段戸会に出るきっかけも父親から勧められたらしく、20回生の友達にきちんと挨拶するようにと。(笑)世代が繋がって行くという感じがいいですね。同窓会というと熟年のイメージで、若い頃は誘われてもなかなかね……。私が最初に参加したのは15、6年前だと思っんですけども、その時は、私と斉木さんの二人でした。20回生は。結局彼女の力が多だだと思っ

ですが、どんどん広がって、去年は15、6人いたんじゃないですか。

水谷 そんなに多かったですか？

神尾 ええ。増えているし、総会とは別に、東京周辺にいる同期が集まる機会も出てきてるんですよ。

板倉 学卒後、入社は東京で、首都圏段戸会の存在は知っていましたが、足を運ぶには至りませんでした。興味が無かった訳ではありませんが、その頃は日々追われ、自分の中で同窓会というものの優先順位があまり高くなかったような気がします。時を経て、時間に余裕を見つけた頃、同窓の鈴木君から連絡があり、初参加となったのですが、会場にはすごく魅力的な方が多く、郷愁とあいまって一気に引きずり込まれました。きっかけが大事ですね。段戸会でも全学年に世話人をとを考えており、ほとんどの回で自主的に世話人をやって頂いています。連絡をしてみてもいいかなと。多分、斉木さんを誘ったの

神尾 私は高校時代に親しくしていた斉木さんに誘われたんです。彼女が世話人をやっていたので。

水谷 多分、斉木さんを誘ったの

は私だと思っんですよ。たまたま花をやって下さったので。東京の同窓会の一層の特徴は先輩、後輩の垣根がないことですね。

仕事にも広がるネットワーク

神尾 一つおもしろい話があるんですよ。日経新聞の原田勝広君というのが同期なんですけど、たまたま私のボスの所にインタビューに来たんですよ。その時私も同席していたんで名刺交換してるんだけど、名前を見ても思い出さないうんですよ。(笑)

その原田君が「乙川ですか、とか菅生川ですか？」とか言うんですよ。「何でそんなローカルなことを？」って私が怪訝な顔したら、彼が「いや、僕は岡崎高校出身です」って言うから、「ええっ」って。「ところで何回卒ですか？」って聞いたら、それは分からないけど昭和24年生まれだと言っんです。「一緒ですよ。担任は？」って聞いたら小清水先生だっ。「同じだ」って。



板倉信吾

水谷 クラス一緒だったんですか？

神尾 お互い名前と顔を見てその当時の事は思い出せなかつたんですが、それからですよ。ジャパン・プラットホームっていう国際人道支援の組織があるんですが、その関係の仕事で一緒になるんですよ。もう本当にそう考えると奇遇というか……。

長野 そう考えると、お仕事で一緒になつていてくれるっていいことあるかも知れませんが、神尾さんはCSRに関わっておられるので、業種だけでない広がりがあって、岡高ネットワークを色々掘り起こして頂けそうですね。水谷さんは段戸会でも華教室をやつて下さつてますが、ああいう趣味の活動が同窓会にあるのも珍しいですよ。

グローバルな人間的魅力を

水谷 華教室は、最初事務局の村木さんから依頼があり引き受けましたが、実際、勉強重視の岡高の女性が花に興味を持つか自信がなかったんです。だから、やっても人が来ないと思つていました。ふたを開けたら興味のある人が沢山いらつしたので驚きましたよ。

長野 高校時代は勉強したかも知れませんが、社会人になつて来ると余裕が出てく



長野麻子

ると、そういう世界の事もやつてみたいと思っんですよ。

水谷 今はみんな高学歴になつて、差が無いじゃないですか。女性もグローバルに活躍しますよね。私もフワワーアレンジメントの世界に入つてからは、世界のいろんな所で仕事してきました。女性でも男性でも、何か生み出すものとか、趣味の世界とか文化的なものをしっかり持つていって、海外に行つた時に尊敬されますね。一つのものを持つていって、世界では通用する。だから、私、関東学院大学で教えてるんですけど、一つそういうものを持つていってグローバルな場面から言つて言つていって、岡高の方達も、何かそういうものに目を向けて頂いて、勉強プラス何かグローバルに通用するものを持つていって、より魅力的で素敵に世界を闊歩出来るんじゃないでしょうか。

板倉 今年、採用の面接官をし



水谷鏡子

したが、学生が皆同じように見えたんです。学歴ではなく、その人だけにしかない何かを期待し、見つけようとしたのですが、難しくなりました。

神尾 その意味では、同窓の世界に身をおいてみることも自らの魅力に磨きをかける良い機会だと思っます。

まあ、一番手っ取り早いネットワークの作り方なんですよね。取り敢えず、同じ校舎で育つてるといっペリスがあるから。今思っは仕事だけじゃなくて自分の人生においても非常に手っ取り早く出来るヒューマン・ネットワークって感じですね。

長野 そうですね。「菅生川を知つて」ということでちょっと踏み出せちゃうところがあると思います

高校力プラス就職力を

ね。私もいつも総会に行くのと、先輩の話に感動しますし、後輩も可愛いと思っます。コミュニケーションを取る中で広がっていく事がありますよね。人間力のようなものを高める場として、今のところ皆さんのご期待に添う方向に來ているのでしようね。

水谷 最近、岡崎高校のことが週刊誌に出たんですよ。「水谷さんって岡崎高校だよね」とか言われるようになって。

神尾 「優秀なんですね」って言われる。

板倉 それは後輩に感謝ですよ。この前の段戸フォーラムに、現役の学生が五人来てくれたんですよ。こういう会があるのを知つて、就職についてちょっと相談に乗つて欲しいと。私も就職活動ではすごく悩みましたから、そういう時に先輩の話が聞けるのであればいいなあと思っんですよ。

神尾 大体この会の存在を知らない部分で圧倒的に多いんじゃないかと思っんです。高校を卒業する時に何らかの手立てでPRしたらどうですかね。紙じゃなく、誰か代表で行つて。全校朝礼かなんかで、いろんな年齢層の人を取り揃えて

水谷 PRして來たらどうでしょう。

今春、初の試みでしたが会報を卒業前の現役3年生にも配布したんですよ。それからこれも今年の秋からですけど、就職関係の相談に乗る企画があるんですよ。良いと思っません？

長野 就職の時、何を基準にして選んだらいいかとかアドバイスを得られたらいいと思っますよ。私なんか先輩にいろいろ悩みを相談してましたから。自分の組織の中にいただけでは思っつかないような解決策やアイデアを受けて貰えますよ。若い者がうるさいってことはないですかね？

水谷 若い人はうるさい位が元気があつていいんですよ。若い人達が入つて來ると、瞬時に時代の流れみたいなものをキャッチ出来るじゃないですか。

板倉 若い人のメンタリティをぎつとばらんに聞いてみたいですね。例えば就職後にお酒を呑みに行つても、以前とは随分雰囲気違って、打ち解けた感じが無いんですよ。

神尾 無いですね。うちの会社でも若い人はなかなか行かないですよ。私の頃は、何か仕事で役に立つかも知れないなんて裏の狙いもあつたりして行きましたけど。



神尾由恵

水谷 仕事とは違う面が見えて來るってことがありますよね。私は「呑みニューケーション」っていうのは重要視してらるんですよ。

板倉 全く同感ですね。仕事の場面では分からないことが、そういう場面で一杯分かつてくる。日本人って「呑みニューケーション」で仕事してると言われるけど、外人もみんなそうなんです。ホームパーティーやつてみたりとか。やっぱり人間同士だから、いろいろ場面を変えた中で理解していくんですよ。

長野 そうですよ。首都圏段戸会ではフォーラムや趣味の会が活発になつてきましたから、年齢層に関係なくコミュニケーションが取れる状況になつてきましたね。出来る限り進化させて、最初の一步を踏み出し易い形にしたいですね。來て貰つたら必ず何か見つかるといっに、今年もまたいろいろな催しを広げて行きたいと思っます。こういう話が聞きたいとかご希望があれば、

お知らせ

首都圏段戸会に関するお問い合わせは、
ホームページの問い合わせ欄、
またはメールアドレス
nqd28299@nifty.com
へ送信下さい。

- 座談会出席者略歴
- 水谷鏡子 (高14回) 華のハーモニ代表取締役
 - 神尾由恵 (高20回) イオン環境財団事務局長
 - 板倉信吾 (高35回) 三菱商事勤務
 - 司会 長野麻子 (高42回) 農林水産省勤務

ホームページからでもどんなリンクエストして頂きたいと思っます。探せば必ずいるんですよ、いい人材が。あとは、もう少し女性がね。勿論男性の方が東京に來られてる方は多いんですけど、女性比を増やすよう頑張つていきたいと思います。あと若者ですね。

有り難うございました。
(平成十八年六月十七日航空会館 第二サロンにて収録)